

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報（平成 25 年度）のポイント

1. 決算ベースの債務残高の推移

- 平成 25 年度期首の債務残高は、30 兆 7,983 億円であったが、期中に 5,323 億円の債務を引き受け、4 兆 3,142 億円の返済及び 2 兆 9,560 億円の債券発行を行った結果、期末の債務残高は、29 兆 9,829 億円。

【本文 P1 参照】

平成 25 年度の債務残高の推移		平成 25 年度	[単位：億円] (参考) 平成 24 年度
期首債務残高	A	307,983	303,244
債務引受額	B	5,323	15,199
債務返済額	C	43,142	39,230
資金調達額	D	29,560	28,660
債券発行差額償却による簿価増	E	105	109
期末債務残高	A+B-C+D+E	299,829	307,983

注 1) 上記金額には、道路承継未払金（平成 24 年度末 238 億円、平成 25 年度末 378 億円）を含んでいません。

注 2) 端数処理の関係上、計が合わないことがあります。

2. 資金調達の状況

- 平成 25 年度資金調達実績は、2 兆 9,560 億円（政府保証債 2 兆 3,860 億円、財投機関債 5,700 億円）。
- 金利上昇リスクの軽減に向け、長期債（10 年）・超長期債（10 年超）の発行を行ったほか、資金調達の多様化の観点から、中期債（2 年債）を発行。
- 有利子債務の平均資金コストは、期末時点で 1.46%。

【本文 P2~3 参照】

3. 債務返済計画と実績の対比

- 平成 25 年度期首債務残高は 30 兆 4,482 億円であった。平成 25 年度は、収支差 1 兆 3,178 億円、会社からの引受債務 5,489 億円 の結果、平成 26 年度期首債務残高は 29 兆 6,794 億円となり、平成 25 年度期首に比べ 7,688 億円減少し、計画に対しては 1 兆 1,975 億円下回った。

債務返済における収入と支出の概要は以下のとおり。

【本文 P4~6 参照】

【債務返済における収入と支出の主な概要】

- ①会社からの引受債務：実績値 5,489 億円 対計画値 △6,113 億円

首都圏中央連絡自動車道（相模原愛川～高尾山）や中央環状品川線の工事の完成予定が平成 25 年度から平成 26 年度に変更されたことや、既に通した区間の残事業が継続していること等による減。

- ②収支差：実績値 1 兆 3,178 億円 対計画値 +1,842 億円

・収入：緩やかな景気回復に伴い、高速道路の利用が堅調に推移したことによる貸付料収入の増。

（収入の実績値 1 兆 8,817 億円 対計画値 +1,897 億円）

・支出：低金利の資金調達等によって支払利息が計画を下回った一方で、会社からの引受債務が計画を下回ったこと及び貸付料収入が計画を上回ったことによる納付消費税の増加によって管理費等が計画を上回ったことによる増。

（支出の実績値 5,640 億円 対計画値 +54 億円）

【本文 P6 別添資料 P3~25 参照】

平成 25 年度における債務返済計画と実績の対比（総括表概要）

[単位：億円（消費税込み）]

	合計	全国 路線網	首都 高速道路	阪神高速道路		本四 高速道路	一の路 線
				阪神圏	京都圏		
債務残高（平成 25 年度期首）							
計画(A)	308,501	222,398	40,999	29,111	1,082	14,579	331
実績(B)	304,482	218,644	40,983	29,098	1,130	14,378	248
差額(B) - (A)	△ 4,019	△ 3,754	△ 15	△ 12	48	△ 202	△ 84
会社からの引受債務 ^(注1)							
計画(A)	11,603	8,113	2,300	1,063	1	96	29
実績(B)	5,489	4,243	243	882	1	90	30
差額(B) - (A)	△ 6,113	△ 3,870	△ 2,057	△ 181	0	△ 6	1
収入							
計画(A)	16,920	11,799	2,439	1,566	54	1,004	59
実績(B)	18,817	13,719	2,385	1,505	23	1,112	73
差額(B) - (A)	1,897	1,921	△ 53	△ 62	△ 31	108	14
支出							
計画(A)	5,585	3,688	923	689	37	240	9
実績(B)	5,640	3,735	1,033	606	19	241	6
差額(B) - (A)	54	47	110	△ 83	△ 17	1	△ 3
収支差							
計画(A)	11,335	8,111	1,515	877	17	765	50
実績(B)	13,178	9,985	1,352	899	4	871	67
差額(B) - (A)	1,842	1,874	△ 163	21	△ 13	107	17
債務残高（平成 26 年度期首） ^(注2)							
計画(A)	308,769	222,400	41,784	29,296	1,067	13,911	310
実績(B)	296,794	212,902	39,875	29,081	1,128	13,596	211
差額(B) - (A)	△ 11,975	△ 9,498	△ 1,909	△ 215	61	△ 315	△ 99

注 1) 「会社からの引受債務」では、機構が国等からの出資金及び補助金を財源として高速道路会社に貸し付けた無利子借入金に係る債務は除いています。

注 2) 全国路線網及び本四高速道路については、平成 25 年度期末時点の値を記載しています。

注 3) 端数処理の関係上、計が合わないことがあります。

※ 債務返済計画では、決算と数値の扱いが異なる部分がありますので、計画実績対比を行う際には決算数値を債務返済計画ベースに修正した数値を用いています。例えば、未償還残高を計算する際には、現金、未収金・未払金の扱いが異なります。また、個別項目においても、消費税、減価償却費の扱いなどが異なります。

4. 機構と会社を合わせた債務残高及び債務返済状況

- 「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針（平成 22 年 12 月 7 日閣議決定）」において公表することとされた、機構と高速道路会社を合わせた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況は、別添資料 27 ページ（債務返済計画ベース）及び別添資料 37 ページ（決算ベース）に記載。

5. 路線別営業収支差（高速道路会社情報の総括）

- 平成 25 年度の営業収支差（料金収入－会社の管理費）は、6 社合計 1 兆 6, 132 億円。
【本文 P 10 別添資料 P 45～49 参照】

平成 25 年度の高速道路会社別営業収支差

[単位：億円（消費税抜き）]

	料金収入 A	管理費 B	営業収支差 A－B
東日本高速道路(株)	6, 589	2, 013	4, 575
中日本高速道路(株)	5, 114	1, 532	3, 582
西日本高速道路(株)	6, 041	1, 771	4, 269
首都高速道路(株)	2, 544	632	1, 911
阪神高速道路(株)	1, 733	407	1, 325
本四高速道路(株)	653	186	467
計	22, 676	6, 544	16, 132

注 1) 料金収入と管理費は会社の損益計算書上の値です。

注 2) 端数処理の関係上、計が合わないことがあります。

注 3) 西日本高速道路(株)の料金収入及び管理費は、機構の資産ではない関門トンネルの料金収入及び管理費を除いた値となっています。

6. 道路資産の保有及び貸付状況

- 平成 25 年度期末の保有・貸付延長 10, 061km
うち 供用区間 9, 812km
(新規供用及び仙台南部道路の移管による 105. 0km の増)
うち 新設区間 249km

【本文 P 14 別添資料 P 64 参照】